

球磨村 おがわ瓦版

令和2年8月15日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

球磨人吉大豪雨で球磨川氾濫



球磨川の水位は、小川地区の村道まで上がってきた。住民はただ呆然と眺めるだけだった。(小川地区村道より)

7月3日から4日にかけて、大雨により球磨川が氾濫。球磨人吉に甚大な被害をもたらした。
球磨村では渡地区の茶屋、舟戸、島田、今村、地下、山口などの集落の大半の家屋が浸水し全半壊した。また家屋や小島のようになった流木などのがれきが次から次へと濁流に流されていた。一方、浸水した家屋の2階ベランダの縁に乗り雨樋につかまって助けを求める女性、屋根の上で救助を待つ老夫婦が救助ヘリや救命ボートを待っていた。まさに東北地震で起きた津波を見てるような光景だった。

6月に入り小川班内の公民館周辺や神社境内にイノシシが出没するようになり、特に周辺や土手などがひどく荒らされ土砂崩れを起こして危険な状況になっている。今後、梅雨時期の大雨で土砂災害の心配もされる。
そのため小川班では、6月28日(日)午前8時より住民総出で法面や土手を均しブルーシートや土のうなどで応急的な復旧作業を行なった。



復旧作業をする住民

公民館周辺害獣被害

住民総出で復旧作業



浸水した渡小学校校舎と体育館、渡小学校運動場と右側が渡多目的集会施設 (小川地区村道より)



濁流で全半壊した茶屋・舟戸地区と浸水したJR肥薩線、一時は国道219号線まで浸水した (国道219号線より撮る)



小川大王神社夏祭り

小川班(松浦則幸班長)では、新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年の大王神社夏祭り・さなぼりを神事のみ開催された。

神事は、6月28日(日)午後1時より住民約30人が集まり神社境内で執り行われた。渡阿蘇神社(一王子神社)の尾方孝至宮司が祝詞で豊作祈願、家内安全祈願しお祓いを受け、小川成正氏子代表、松浦則幸班長と老人会、婦人部の各代表が玉串を捧げ祈願した。



令和2年度生涯学習講座始まる

今年度の生涯学習講座の開講式はコロナの影響でそれぞれの講座で行われた。「球磨村歴史講座」は5月23日に開講式が球磨村コミュニティセンター清流館にて行われた。昨年度より2人多い受講者でスタートする。

今年度の講座は、現在「球磨村歴史講座」20人、「囲碁講座」17人、「ハッピー体操講座」15人「ひよっここ踊り講座」17人の4講座合計69人が受講する。受講希望者は随時受け付けている。ちなみに、球磨村文化協会のサークルは14サークル155人が参加。

